

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	平成28年度 南河内環境事業組合第2清掃工場 河内長野市公害防止対策委員会
2 開催日時	平成28年10月 3日 (月) 午後2時半から
3 開催場所	南河内環境事業組合 第2清掃工場 2階会議室
4 会議の概要	1. 平成27年度委員会会議録報告について 2. 平成27年度第2清掃工場周辺地域環境測定結果報告について 3. 平成28年度第2清掃工場周辺地域環境測定計画について 4. 第2清掃工場 基幹的設備改良工事整備計画 (案) について 5. その他
5 公開・非公開 の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	なし
7 問い合わせ先	(担当課名) 環境経済部 クリーンセンター環境事業推進課 (内線448)
8 その他	

平成28年度 南河内環境事業組合第2清掃工場
河内長野市公害防止対策委員会要旨録

1. 開催日時等

- ・日時 : 平成28年10月3日(月)午後2時30分～午後4時
- ・場所 : 南河内環境事業組合 第2清掃工場 2階会議室

2. 委員等出席者(敬称略)

- ・委員 : 中原武利(委員長)、前田泰昭、松尾照彦、久保公志、川見良二、
田中光弘、山口健一、若林次郎、中谷浩
(欠席委員:新宅雅文(副委員長)、江後嘉實、峯考式)
- ・事務局 : 加山部長、大谷課長 松谷係長
- ・南環境 : 浅川局長、山本次長、松本次長代理兼第2工場長、道簾第2工場長代理

3. 委員会要旨

(1)開会(事務局)

- ①島田市長あいさつ(所用により退席)
- ②委員の出欠状況等報告
- ③南河内環境事業組合並びに事務局職員紹介

(2)審議(中原委員長)

①平成27年度委員会会議録報告について

《資料》 ・平成27年度委員会会議録(要約)

- ・(追加配布資料)一般廃棄物処理施設維持管理情報(平成28年度)

事務局より上記資料について説明、南環境より追加配布資料の説明をし、質疑応答なく、了承された。

②平成27年度第2清掃工場周辺地域環境測定結果報告について

《資料》 ・平成27年度第2清掃工場 排出ガス・水質測定結果

- ・平成27年度第2清掃工場 周辺地域環境測定結果

(日野・滝畑・天野地区)(概要版)

南環境より上記資料について説明、以下のとおり質疑応答がなされた。

<質疑応答>

委員長：資料2頁、平成27年12月17日のダイオキシンの値が非常に低いのはどうしてか。

南環境：測定日当日も普段と変わらない炉の運転をしています。ダイオキシン類はゴミの質に影響されます。原因と考えられるのは大阪府の森林組合の樹木リサイクルセンターが廃止されました。ここに年間河内長野市の樹木が1,000トン程度持ち込まれており、その施設の廃止に伴い、第2清掃工場に持ち込まれたため、ゴミの質が一時的に塩素系ではなく、樹木が多くなったことによるものと推測しています。

委員：この測定は、一般河川を測定しており焼却場原因でないものが含まれている。基準値内の時はよいが、基準値を超えるものが出てきた場合、本委員会としてどのように対応するか決めておく必要があるのではないか。

委員：周辺地域としては安心安全のバロメーターであるので今後も継続して測定を実施すべきだと考える。基準値超えが出た場合の対応をどうするかという事は理解できる。

委員：仮に環境基準を超えた場合、この委員会資料にあるからといって焼却場原因とは言えないという事である。

委員長：今ここで答えがすぐにでないようなので、意見として聞いておく。

委員：測定の場所について、地域内でも人が多く住んでいる所まで測定してほしいという声があった。測定箇所を変えることはできないのか。

委員長：前年度にも同じような意見があったが、今の段階で測定箇所を増やすのは費用的に難しいのではないのか。

委員：測定箇所を新たに増やすと予算も増えるのはわかる。現在測定している場所を、違う場所に変更すればいいだけのことではないのか。

南環境：現在の測定箇所は建設当時に地元との協議で決定した経過があります。また測定箇所を変えたとすると、その場所で経年的な変化が見られないという問題もあります。ただしトラブルが起こった際には何らかの形で周辺まで調査をしないといけないとは考えております。

地元として経年変化を確認できなくても、違う場所で測定を行ってほしいということであれば、南環境としては測定箇所について協議をしていくことは可能です。

委員：測定箇所について、何らかの変えなければならない理由があるならば変えるべきである。但しそれには煙突からの煙が風向きなどでそこに到達するなど、科学的な根拠が必要なのは。従って継続的なものではなく、単年でポイント的な測定という考えで測定してみてもいいかもしれないが。

委員長：現在の測定箇所では基準値超えはないので、しばらく現状維持でどうか。

③平成28年度第2清掃工場周辺地域環境測定計画について

- 《資料》 ・平成28年度第2清掃工場 周辺地域環境測定実施計画
・平成28年度第2清掃工場 排出ガス・水質測定実施計画

南環境より上記資料について説明、以下のとおり質疑応答がなされた。

<質疑応答>

委員長：次年度の測定業者が決定するのはいつ頃になるのか。

南環境：平成29年2月～3月に入札を行い、4月1日から落札し、契約をした事業者が業務を行います。

委員：測定を開始した当初から日建技術コンサルタントが請け負っているのか。

南環境：当初は別の業者でした。その後も、日建技術コンサルタント以外の事業者が落札したこともあります。入札は価格競争で、3年間の長期契約です。

委員長：応札業者は何社位か。また、1年間の委託料はいくらか。

南環境：10数社応札があります。年間の委託費は1,300万円程度です。

④第2清掃工場 基幹的設備改良工事整備計画（案）について

- 《資料》 ・第2清掃工場 基幹的設備改良工事整備計画（案）

南環境より、上記資料について説明、以下のとおり質疑応答がなされた。

<質疑応答>

委員長：具体的な数値目標は、仕様書にいれるのか。

南環境：工事完成の際の検査等で確認をします。

委員：今回の工事を実施した場合、何年間使用を延長できるのか。また、その後はどのようにするのか。

南環境：使い方により異なりますが、15年から20年程度です。その後どうなるかは現段階ではお答えできませんが、今回と同じように精密機能検査を実施し、次の考えをお示しさせていただくものと考えます。

委員：大規模改修工事という事であるが、更新という建て替えと同じ扱いをするのか。

市：言葉の表現は色々ありますが、地元の理解を得た上で、工事をすすめてまいりたいと考えております。

委員長：今回の工事について、地元の理解を得るように努力していただきたい。

委員：この施設が嫌悪施設から、有益施設になるように次の15年間で何か検討をしてもらいたい。

委員：地元としては、大規模改修よりも建て替えを行ってもらったほうが、安心である。

⑤その他

委員長より「その他に何かご意見やご質問があればどうぞ」との進行により、以下の質疑応答がなされた。

<質疑応答>

委員：大規模改修工事については、市、南環境とも過去の経過も踏まえて、地元との協議に臨んでもらいたい。

委員長：今の意見を踏まえて、市、組合とも地元との協議をお願いします。

(3)閉会（事務局）